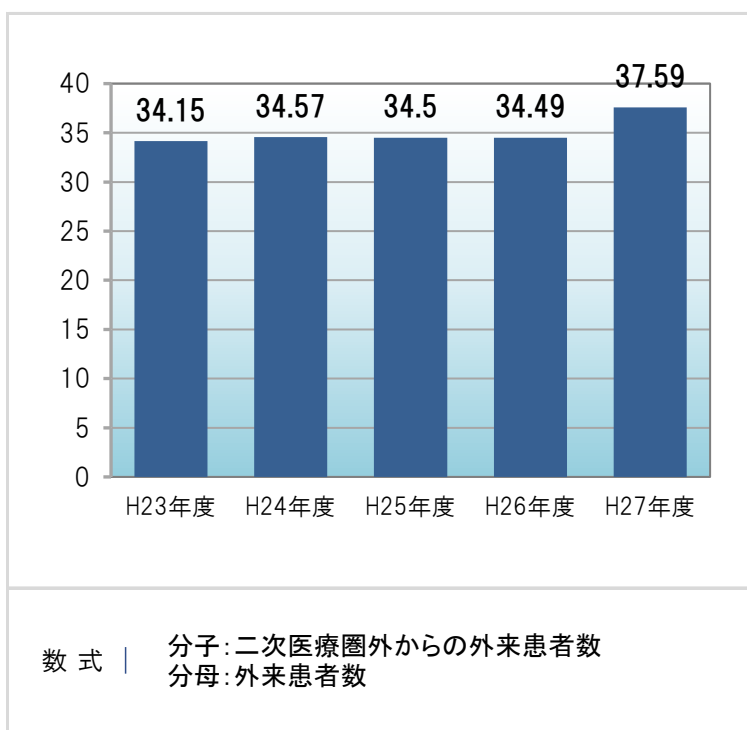


50 二次医療圏外からの外来患者の割合

● 項目の解説

医師派遣と並んで地域医療への貢献度を表す指標であり、地域医療における「最後の砦」として国立大学病院がいかに遠方の患者の診療も担っているか示しています。ここで「外来患者数」の捉え方が常に問題となるので、各病院の独自ルールではなく、経営管理項目の定義に従って算出しています。

● 当院の実績



単 位 | %

期 間 | 年間

備考・コメント

当院の属する京都・乙訓二次医療圏は、京都市、向日市、長岡京市、大山崎町です。本項目は、それらの地域以外からの外来患者の割合です。

平成27年度国立大学病院平均値 35.39%

● 定 義

1年間の自施設の当該二次医療圏外に居住する外来患者の延べ数を外来患者述べ数で除した割合(%)。二次医療圏とは、医療法第30条の4第2項により規定された区域をさします。「外来患者」数は延べ数としますが、その定義は、初再診料を算定した患者とし、併科受診の場合で初再診料が算定できない場合も含みます。入院中の他科外来受診は除きます。検査・画像診断目的の受診は、同日に再診料を算定しない場合に限り1人とします。住所の不明な患者は、二次医療圏内とします。